

IN ACTIVITY

令和6年度SCAT研究助成の募集

当センターでは、先端的な情報通信分野の研究の支援および次世代を担う若い研究者の支援をねらいとして、研究費および研究奨励金の助成を行っています。さらに、国際研究交流の促進をねらいとして、国際会議開催費の助成を行っています。これらの令和6年度（令和7年度から助成開始）の募集内容は次のとおりです。

■募集内容 *1

1. 研究費助成

- (1) 応募資格
先端的な情報通信技術分野の研究を行っている研究者または研究グループ
- (2) 助成額など
1件あたり総額 250 万円以下
(助成期間：2年または3年)
- (3) 募集期間
令和6年8月1日(木)～令和6年10月31日(木)

2. 研究奨励金

- (1) 応募資格
先端的な情報通信技術分野の研究を専攻する、令和7年4月又は令和6年10月期に大学院博士後期課程への進学予定者で、研究科長が推薦する学生
- (2) 支給額など
1名あたり月額 10 万円
(支給期間：在学中の3年間以内)
- (3) 募集期間
令和6年8月1日(木)～令和6年11月29日(金)

3. 国際会議助成

- (1) 応募資格
令和7年度中に開催される先端的な情報通信技術分野の国際会議を主催する学会、研究グループなどの責任者
- (2) 助成額など
1件あたり 25 万円以下
- (3) 募集期間
令和6年8月1日(木)～令和6年10月31日(木)

*1 概略を載せています。募集内容の詳細は、当センターのホームページを参照願います。

■応募方法

所定の申込書類に必要事項を記入のうえ、当センター宛に郵送してください。応募書類は、当センターのホームページからダウンロードしてください。ダウンロードできない方は、下記の送付・問合せ先までご請求ください。

Homepage: https://www.scat.or.jp/josei/boshu/boshu_info/

■送付・問合せ先

〒162-0067 東京都新宿区富久町 16-5 新宿高砂ビル
一般財団法人 テレコム先端技術研究支援センター 事業部

TEL : 03-3351-8148 FAX : 03-3351-1624

E-mail : scatjosei@scat.or.jp

Homepage : <https://www.scat.or.jp>



理事会および評議員会

- 理事会 : 令和6年6月7日
- 評議員会 : 令和6年6月27日

● ところ : SCAT 会議室

第 81 回理事会と第 62 回評議員会において、研究助成事業、技術情報の提供及び知識の普及事業、研究者表彰事業、調査研究及び支援事業などを内容とする、令和5年度の事業報告及び収支決算が承認されました。

臨時理事会

● 臨時理事会：令和6年6月28日

● ところ：SCAT 会議室

任期満了に伴い役員が選任されたことを受け、当センターでは臨時理事会を開催し、

代表理事・会長 吉田 進（京都大学名誉教授）

代表理事・専務理事 柳島 智（一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター）

業務執行理事・常務理事 角 隆一（一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター）
を選定されました。

第119回テレコム技術情報セミナー

講演の内容は本号「SEMINAR REPORT」でご紹介しています。

■ と き：令和6年6月11日（火） 15時05分～16時35分

■ 開催場所：SCAT 会議室 及びオンライン

当センターでは、情報通信技術に関する知識の普及を目的としたセミナーを定期的で開催しています。

さて、少子高齢化が速度を上げて進む状況下での介護職員不足、食料自給率が低いのに一向に生産性が上がらない農業分野、医療が高度化してもその効能が国民には行き渡らない歪んだ福祉環境、などなど今や日本は決して住みやすい国とはいえません。しかし、悲観するのは早すぎるかもしれません。この深刻な課題の解決に光を照らす技術があります。それは「人間拡張（Human Augmentation）技術」です。以前から基礎研究は進んでいましたが、ここに来て、IoT・AI・ネットワークの低遅延化、これらの技術進展を追い風に当該技術の実装が急速に加速されています。

既に、パワーアシストスーツ、遠隔医療、VR ゴーグルなどは、みなが知るところでしょう。そして、今、目を引くのが、人の動きを自分の動きとして完全に共有し体感できるもの。これを使えば、超プロフェッショナル者の技術でも身をもって体感し共有できます。例えば大リーグの有名選手の投球フォームを自身の体で完全に再現することができるのです。こんな「人間拡張技術」の紹介を今回は企画しました。ご講演いただく方は、この道の第一人者である産総研の持丸センター長です。是非、生のご講演を体験いただきたいリアル（会場）で開催します。なお、大変興味深いテーマゆえ、極力多くの方々に提供すべく、今回はWeb 配信も加えたハイブリッド開催を初めて試みました。

講演（15時05分～16時35分）

「人間拡張技術による生活と業務のアップグレード」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 フェロー

人間拡張研究センター 研究センター長 持丸 正明 氏

要旨

人間拡張技術とは、人に寄り添い人を高める技術であり、ウェアラブルセンサ、デジタルヒューマン、VR/AR、ロボット、サービス工学などを統合して人の心身機能を一時的、さらには恒常的に向上させるシステムインタフェースである。これを健康や介護サービスに活用して生活向上を支援したり、介護業務や建築業務に適用して生産性向上に役立てようとしている。具体的な事例を通じて、人間拡張技術の最新動向を紹介した。

(講師略歴)

- ・1988年 慶應義塾大学理工学部機械工学科卒業
- ・1993年 慶應義塾大学大学院博士課程 生体医工学専攻修了 博士(工学)
- ・1993年 通商産業省工業技術院生命工学工業技術研究所 入所
- ・2001年 改組により、産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究ラボ・副研究ラボ長
- ・2010年 デジタルヒューマン工学研究センター・研究センター長、
および、サービス工学研究センター・研究センター長(兼務)
- ・2015年 産業技術総合研究所 人間情報研究部門・研究部門長
- ・2018年11月 産総研柏センター内に人間拡張研究センター設立 研究センター長
- ・2023年4月 産総研 フェロー(人間拡張研究センター長 兼務)

専門は人間工学、バイオメカニクス、サービス工学。人間機能・行動の計測・モデル化、産業応用の研究に従事。

筑波大学、都立大学、東京大学、慶應義塾大学、立命館大学の客員教授。

2002年、新技術開発財団より市村学術賞受賞、2011年、経済産業省 工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰ほか。2008～2016年まで、ISO TC159/SC3 (ergonomics/anthropometry and biomechanics) 国際議長。2019年より、ISO TC 324 (sharing economy) 国際議長。2020年より、ISO PC329 国際議長。2014年より、消費者安全調査委員会・委員長代理。2023年4月より、内閣府 SIP バーチャルエコノミーの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備、プログラムディレクター。